

令和8年3月25日

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 南区自治協議会(全体会)

区分	内容
テーマ・事業名	南区まちづくり活動サポート事業【事業費予算 2,000千円】
事業目的・概要	<p>地域活動団体や企業と連携を図り、多様な資源や新たな視点によるアイデアを活用して、より効果的な協働による事業展開を図るため、南区区ビジョンまちづくり計画に掲げるさまざまな地域課題の解決につながる取り組みを、1事業につき50万円以内(過去に本事業で実施したことのある場合は2回目は20万円、3回目は10万円以内)で募集して事業委託する。</p>
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>本事業は6団体から応募があり、令和7年5月15日(木)にプレゼンテーションによる審査を経て、4団体を採択した。 各団体における事業実績は以下のとおり。</p> <p>◆みんなの居場所をみんなでつくる【ボランティアサークルふおうはあと】 一人一人が尊重しあい、誰にとっても居心地の良い活動を目指し、アロマ教室や実験教室、お寺で遊ぼう、新飯田以外の南区を知る機会をつくるため「南区東西南北」と題してバスで月湯・味方などの地域を訪問するなど、様々な活動を実施した。</p> <p>◆描け！広がれ！選ばれる白南未来図 II【白南地区コミ協連絡会】 新飯田・茨曾根・庄瀬の3地域が進める、新しい学校づくりを中核に「選ばれる地域づくり」の活動の様子を、ホームページやリーフレットを用いて地区内外に発信した。市教育委員会や関係各課と協議を重ね、子育て総合支援型学校「はくなん学園」(仮称)の具体像を描き出す作業を進めた。</p> <p>◆多世代協働企画によるイベント「よるのがっこう」【庄瀬地域コミュニティ協議会】 多世代交流と次世代の地域の担い手を発掘・育成することを目的に、夏休み期間中の夜の小学校校舎を会場としたイベントを、保護者や学生、地域コミュニティ協議会などが協働で企画、準備、運営して開催した。ワークショップ形式で開催した会場のセットや特殊メイク講座には、児童や中高生も参加し、当日も300人を超える来場者があり、大盛況となった。</p> <p>◆挑戦！あじかたの農業の未来研究隊【味方地区コミュニティ協議会】 味方中学校の生徒に農業の魅力を見つけてもらうことを目的に、農産物の栽培を行ったり、専門家を招聘して土壌づくりなどを学んだ。また、活動した内容を生徒と共にリーフレットにまとめたり、味方中学校のホームページに特設サイトを立ち上げ、地区内外に発信した。</p>
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>○ 採択されたそれぞれの団体が、地域の魅力を最大限に発信し、南区の活性化につながる個性あふれる事業を展開していた。</p> <p>○ 応募団体を増やすため、再応募できる回数を増やすなど要綱の改正を行い、令和6年度は4団体だった応募が令和7年度は6団体となった。</p>
備考	